

## 「心も やさしく成長しました」

令和6年度の教育活動が、全て終了しました。この一年間で、卒業生も含めて494名、一人ひとりが大きく成長できた時間だったようで、大変うれしく思います。「あゆみ」の文章欄には、

「自分の仕事を終わると、手伝うよと声をかける姿が見られました」

「困っている友だちに大丈夫？と寄り添い、力になる場面を見かけました」などの記述が、幾人もの子に見ることができました。子どもたちは、確実に自分のことと同時に、自分以外のことへも気を配り、的確に行動できるようになってきていると感じました。これから子どもたちは、何に興味を持ち、どのような「よさ」を見せてくれるのか、おおいに楽しみです。

柳橋小学校の子どもたちのために、毎日登下校を見守ってくださった皆様、学校評議員の方々、地域、PTA役員、保護者の方々、たくさんのご支援ありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは安心して学校生活を楽しむことができました。心より、お礼申し上げます。

## 「夢の実現に向けて」～卒業式祝辞より～

2013年に日本のプロ野球チームに入団した大谷選手は、「二刀流」に挑戦し、史上初となる「2桁勝利・2桁本塁打」を達成しました。その後アメリカに渡り、様々な記録をぬりかえました。2022年には、ついに伝説の選手と言われるペーブ・ルース以来、104年ぶりとなる「2桁勝利・2桁本塁打」を達成し、世界中を驚かせました。本当にすごい選手だと言えます。いつまでも元気で活躍することを祈っています。ところでスーパースター大谷選手が夢について語った言葉があります。「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ」です。

大谷選手は、単にプロ野球選手を目指して、野球のことだけ考えてきたわけではありません。高校生の時に書いた「人生の目標シート」の項目を見ると、「体力づくり」「コントロール」「スピード」といった野球に関係したことの他に、「感謝」や「思いやり」といった人間性に関わることも書かれてあります。驚いたことに、「ゴミひろい」「本を読む」といった項目もあります。

このことは、「野球をやっていたらなんとなくプロになっていた」という気持ちではなく、「夢の実現に向け、いろいろなことに関心をもって取り組んでいきましょう。」という大谷選手の私たちへの強いメッセージとも受け取れます。「無駄になる経験はない。」と言われてしています。できるところから積極的にチャレンジし、「できるもの」は大切に育てていきたいものです。

3月は、1年間を振り返り、自分の成長が分かるときです。そして4月、さらにステップアップする自分の姿をイメージして迎えましょう。これからも、先生たちは「ゆめるん」と共に応援していきます。

本日、修了式後に「お別れの会」を行い、次の職員は、児童に別れの挨拶をしました。なお、詳細につきましては、4月8日（月）に改めて、連絡させていただきます。

☆太田 華奈子  
平山 祥子  
沢田 雅貴  
藤峯 真紀  
瑞慶覧 麻由美  
吉永 明紗  
☆小口 直子

総括教諭  
総括教諭  
教諭  
教諭  
教諭  
教諭  
教諭

鈴木 かおり  
江田 祥子  
三浦 文夫  
☆小笠原アンナミカエラ  
☆佐久間 レン  
☆佐々木 隆夫

事務主事  
やなぎ級ヘルパー  
寺子屋コーディネーター  
相談員  
ALT  
スクールサポートスタッフ

☆印の職員については、勤務の関係上、「お別れの会」に参加できなかったことを申し添えます。

校長 古山 雅世

やなぎきおぼし

令和6年  
春休み号

